



★ 使役動詞とは

今回もSVOCの動詞です。SVOCという文は「OがCする（OがCである）」のをSがVするという意味の文型でしたね。先週は中でもCにto不定詞をとれるものを勉強しました。今日は使役動詞です。下の文を見てみましょう。

S **V** **O** **C**
 I had my secretary book a flight.

SVOCの文型なのでOとCに文のようなものが見えますが、先週の形とはCのところ違っていませんか。Cには動詞の原形が入っています。この文は「私は秘書に航空券を予約してもらった」となります。haveですが、「持つ」という意味とはちよっと違っていることもわかりますね。これが使役動詞です。

★ 使役動詞の特徴

それでは使役動詞の基礎知識です。

- ① let, have, makeのこと。SVOCを作ることができるのですが**Cに原型不定詞**を取ります。
- ② 原型不定詞とは一見、動詞の原形に見えますが、to不定詞のtoがない特殊な形。結局Cにto不定詞がくる場合と同様に**SVOC**の文です。
- ③ 使役動詞とは「人に何かをさせる」という意味。letとhaveとmakeはどれも人に何かをさせるという意味になりますが、意味合いが少しずつ異なります。
- ④ letは「OがCするのを許してあげる」という意味で、haveは「OにCしてもらう」、またmakeは「OにCさせる」という意味になり、makeが一番強制の意味が強くなります。例文を見てみましょう。

- ① I rarely **let** my children play videogames.
- ② I **made** my subordinate do the report.
- ③ Oh, my car is broken. I have to **have** someone repair it.
- ④ The class is over. I **let** you go home.

それぞれのニュアンスの違いがわかりますか？①は「私はめったに子供にゲームをさせないで②は「私は部下にレポートをやらせた」、③は「私は誰かに車を直してもらわないといけない」で④は「家に帰ってもいいよ」となります。特にmakeとhaveは「作る」「持つ」という意味しかないと思っている人が多いと思いますので、使役のことを知らないとな上の文は訳せませんよね。



★ 特殊なhave

使役の中でもhaveはかなり頻出です。と言うのもmakeとletはCに原形不定詞がくるわけですが、haveは原形不定詞でも過去分詞でもどちらでもいいということで使い方がやや広いのです。次の例文を見てみましょう。

- ① I had my computer **repaired**.
- ② I had my secretary **call** Mr. Swing.

どういふ場合にどちらになるのかは下で勉強しましょう。makeやletはOに人を持ってきてCに原形不定詞がくるわけですが、haveの場合は**Oは人とは限りません**。上の①のようにmy computerのような物がくることもあります。特にOCでCが過去分詞になるケースがなかなか理解しづらいと思いますので、しっかりと勉強する必要があります。

「誰かに何かをやってもらった」このようなことを表現したい場合には、haveをすぐに頭に思い浮かべましょう。

★ 原形不定詞？過去分詞？haveの場合

さてSVOCのOCには「状況」が見えると言いました。違う言い方で言えば、そこには小さな文が見えるわけです。下の例を見てみましょう。

I want him to type the report.

この文のOCを見てみると「him to type the report」ですが、ここには「He type the report」という文が見えますね。SVOCの文は、このように小さい文をOCに組み込んだものと言えるでしょう。

使役動詞もSVOCですから理屈は同じです。使役動詞の場合は、OCという状況を「させた」「してもらった」という意味になります。このOとCの関係が能動になるか受動になるかでCに入るものが変わります。例えば

- ① I had him **type** the report.
- ② I had the report **typed**.

①の場合は、OとCにある状況を文にしてみると「He type the report」と能動（普通の文）ですから、これはCに原形不定詞を入れます。②の場合は、OCが「The report was typed」と受身の文になりますから、これはCのところに過去分詞を入れます。

このへんのところを理解するためには、受身のコンセプトもしっかりと理解できていないといけませんよね。「OOが～される」というのが受身ですね。物を主語にすると受身の文になることが多いです。



★ letの使い方

letは普段、よく耳にするかと思います。前ページにあったように「OがCするのを許す、そのままにしておく」という意味です。例文を見てみましょう。

- ① **Let's go to that new restaurant.**
- ② **Please let me know when your schedule is finalized.**
- ③ **Let it be (ビートルズの歌) .**

①はよく聞くものですね。このlet'sですが、実はlet usの略になっていて、この文は「Let us go」となっています。命令文の形なので動詞から始まっていますが「us go」のところがOCですね。これは直訳はしにくいので、表現としてかたまりで覚えておくといいですが、この文を直訳するなら「我々がレストランに行く」のを「許してあげよう」→「さあ、レストランに行こうじゃないか!」という意味になります。

②は普段、メール等で何気なくフレーズのように使っている方も多いでしょう。これも「me know」がOCで「私を知る」のを「許してくださいね」で「教えてくださいね」となります。

③はビートルズの歌です。邦題は「あるがままに」という意味です。「itがbeである」(be動詞は～の状態であるという意味でしたね)の「そのままにしておこう」という意味です。これも直訳は難しいですね。ただletがよく使われるという例としてこの名曲はわかりやすいですね。

letの場合はまずはよく使うフレーズから覚えて使ううちにニュアンスをつかみ、フレーズ以外のものも自分で使いこなせるようになるといいですね。フレーズも含めて、よく使う場面を見てみましょう。

①こちらから、何かをさせてもらいたいとき (let meの形)

- Let me** think (考えさせてください) .
- Let me** check it with my boss (上司と相談させてください) .
- Let me** carry your bag (バッグを持ちましょうか) .

②提案 (let's=let usの形)

- Let's** do it together.
- Let's** go for a drink.

②の場合は「us」なので自分も常に入っています。「私達でやりましょう」という意味なので、「あなたは～したほうがいいよ」という場合には使えません。



★ 強い意味のmake

haveは「～してもらう」、letは「～させてあげる」という感じだったのに対し、makeは「～させる」とかなり強い意味になります。

① **It is difficult to make him agree.**

② **His comment made her cry.**

強い力で誰かに何かをさせるという感じですね。訳し方としてはSのおかげでOがCすると訳すとうまくいく場合も多いです。②なんかは「彼の言ったことが原因で彼女は泣いてしまった」という意味になりますね。

③ **I will make my dream come true.**

この文は、夢を実現するという状況を自分で作り出すんだ、という強い意志が感じられます。このようにmakeは強い影響を与えるイメージですね。

★ makeを使う場面

それでは、makeを使う場面を具体的に見てみましょう。

① 何かが人を動かした、感情を動かした

His story made me start thinking about poor people.

彼の話で貧しい人々のことを考えるようになった。

His behavior made me wonder why he was so stressed.

彼の行動を見て、なぜ彼がそんなにストレスがたまっているのだろうかと思った。

Sのおかげで、OCになったとなりますね。OCのほうが文の中では重要な意味を持っています。ちなみにmakeは普通のSVOC（つまりCに形容詞）も可能ですので The news made me sadという文も可能です。意味は一緒ですね。SのせいでOCになった、となります。

② よく使う疑問文

What made her change her mind?

何が彼女の気持ちを変えたんだろうか？

このwhat made you～？という質問文は「きっかけ」を聞いたりするときにも便利です。「留学しようと思ったきっかけはなんですか？」とかそのような質問をする場合ですね。



★ 使役を使う場面をまとめてみよう

■「～してあげましょう」「～させてください」という場合には「let me～」を使おう

Let me try.

Let me ask you a question.

Let me show you the way to the station.

「～してあげましょう」という場合にはLet meがぴったりときますね。例えばMay I～?あたりも許可を求める場合に使うことはできますが、かなり丁寧でへりくだって言う感じなので、let meのほうがさらっとスマートに助けを差しのべてあげたりすることができます。例えばMay I help you?は本来「あなたのお手伝いをさせていただいてもよろしいでしょうか?」とへりくだった表現ですので、友達同士であれば「Let me help you」のほうが自然ですね。

■お店やプロに何かをしてもらった場合にはhaveを使おう

I **had my hair cut** the other day.

He **had a famous architect build** his house.

よく「髪を切ったんですか?」という質問をDid you cut your hair?としてしまう人がいますがこれは間違いですね。髪を自分で切る人はほとんどいませんよね。お金を払って～してもらったという場合にはmakeの強制の感じもおかしいですし、letの許す感じもおかしいのでニュートラルなhaveを使います。

■「～のおかげで・・・になった」

The news article **made me think** about changing my job.

=I read the news article and thought about changing my job.

上の文は下のようにも言いかえられますが、「～のおかげで」というところまではニュアンスが出ていません。makeを使うと因果関係というものははっきりと出せませんね。

■覚えておきたい表現

I will **have him call** you.

What **made you become** a teacher?

上の文は、電話対応で「わかりました、彼に電話させますね」というときに使います。下の文は「きっかけ」を聞く文でしたね。覚えておきましょう。



★ 知覚動詞

さて、使役動詞と同じような形を取る知覚動詞も押さえておきましょう。下の例を見てみましょう。

- ① I saw the accident **happen**.
- ② I saw him **walking along the street**.
- ③ I saw him **scolded in the classroom**.

上の文を見ると、①は「私は、事故が起きるのを見た」で、②「私は、彼が道を歩いているのを見た」、そして③は「私は、彼が教室で叱られているのを見た」という意味になります。要は、Cには原形か現在分詞か過去分詞のどれかが入ることになります。使役動詞のhaveと似ていますね。haveの場合は、OとCの関係が能動の場合には原形で、受身の場合は過去分詞ということでした。

ただ、知覚の場合には**現在分詞**も可能です。①と②の違いは、①の場合は「事故が起きる一部始終を見た（始めから終わりまで）」という意味で、②の場合は「歩いているところを一瞬見た」という感じになります。ただ、どちらでも同じ意味になることもありますので、そこまで神経質になる必要もないかと思います。同じ意味になる例を見てみましょう。

- I have never seen her dance.
- I have never seen her dancing.

これだと踊っている場面を見たことがない、踊っている一部始終を見たことがない、どちらにしてもあまり変わらないですね。

このような形を取れる知覚動詞というものには、seeのほかにhearやfeel、smell、noticeなどがありますが、意味的に頻度が高いのは**seeとhear**です。他のものは参考までに覚えておきましょう。例文を挙げておきます。

- I **heard** someone **crying near my house**.
- I **can smell** something **burning**.
- I **didn't notice** him **come in the room**.

ちなみにhearの場合、気をつけたいのは

- I **heard that he sang** a song.
- I **heard him singing** a song.

上の場合には「彼が歌を歌ったと（いう話を）聞きました」という意味で、下は実際に彼が歌を歌っているのを直接聞いたという意味になります。



★ 知覚動詞

さて、使役動詞と同じような形を取る知覚動詞も押さえておきましょう。下の例を見てみましょう。

- ① I saw the accident **happen**.
- ② I saw him **walking along the street**.
- ③ I saw him **scolded in the classroom**.

上の文を見ると、①は「私は、事故が起きるのを見た」で、②「私は、彼が道を歩いているのを見た」、そして③は「私は、彼が教室で叱られているのを見た」という意味になります。要は、Cには原形か現在分詞か過去分詞のどれかが入ることになります。使役動詞のhaveと似ていますね。haveの場合は、OとCの関係が能動の場合には原形で、受身の場合は過去分詞ということでした。

ただ、知覚の場合には**現在分詞**も可能です。①と②の違いは、①の場合は「事故が起きる一部始終を見た（始めから終わりまで）」という意味で、②の場合は「歩いているところを一瞬見た」という感じになります。ただ、どちらでも同じ意味になることもありますので、そこまで神経質になる必要もないかと思います。同じ意味になる例を見てみましょう。

- I have never seen her dance.
- I have never seen her dancing.

これだと踊っている場面を見たことがない、踊っている一部始終を見たことがない、どちらにしてもあまり変わらないですね。

このような形を取れる知覚動詞というものには、seeのほかにhearやfeel、smell、noticeなどがありますが、意味的に頻度が高いのは**seeとhear**です。他のものは参考までに覚えておきましょう。例文を挙げておきます。

- I **heard** someone **crying near my house**.
- I **can smell** something **burning**.
- I **didn't notice** him **come in the room**.

ちなみにhearの場合、気をつけたいのは

- I **heard that he sang** a song.
- I **heard him singing** a song.

上の場合には「彼が歌を歌ったと（いう話を）聞きました」という意味で、下は実際に彼が歌を歌っているのを直接聞いたという意味になります。

日常会話完成講座 6 : SVOC (使役動詞)

 復習です。次の動詞で文を作りましょう。もしSVOC (使役動詞) の形がとれるならその形で文を作りましょう。とれない場合には、その動詞がとれる形を考えて文を作りましょう。必ず、カッコ内の指定された単語を文のどこかに入れること。

let (ask)

suggest (you)

wonder (when)

mind (mobile phone)

enable (efficiently)

tell (clean)

recommend (medical check-up)

finish (prepare)

make (feel)

have (repaired)

日常会話完成講座 6 : SVOC (使役動詞)

 次の状況を使役動詞 (make、let、have) を使って表してみましょう。

eg)

Tony read a sad news article and he cried.

↓

A sad news article made Tony cry.

① My best friend gave me a nice present and I felt so happy.

↓

② My car was broken and I asked a mechanic to repair it.

↓

③ I watched a documentary about a successful business man and thought I should study more and more.

↓

④ Tony is so indecisive so his girlfriend changed her mind and decided not to marry him.

↓

⑤ I will go on a trip next month. I will go to a travel agent and ask them to arrange everything for me.

↓

⑥ Susan wanted to go home but her boyfriend did not allow her to do so.

↓

⑦ I want to modify my webpage but I can't do it by myself. I will ask an expert to do it.

↓

日常会話完成講座 6 : SVOC (使役動詞)

 下の状況に応じて let を使って助けを差し伸べてあげましょう。考え付く限り何個書いても構いません。

eg) 外人が道端で駅への道を聞いてきた。

Let me take you to the station.

Let me ask a policeman.

①一緒にランチに行こうと思ったら、友達が財布を忘れたそう。

②家に帰ったら、お母さんが肩こりでつらそうにしている。

③友達が恋人が欲しいと嘆いている。

④同僚が二日酔いでだるそうにしている。

⑤オフィスが寒い。隣の席の同僚が寒そうにしている。

 次の日本語を英語にしましょう。

おや、髪切ったのかい？似合ってるねえ。

この問題については、私に調べさせてください。また連絡します。

日常会話完成講座 6 : SVOC (使役動詞)

駅に行きたいの？よし、駅で降ろしてあげるよ。どうせ買い物に行くところだし。

「最近、不眠症で困ってるんだ」「いい病院を紹介してあげるよ」

肩をマッサージしてもらったが、それでもまだ肩が凝ってるなあ。

親友の結婚が彼に彼女との結婚を決断させたようだ。

彼が会社の誰かと話しているのを見たことがない。同僚とうまくいっていないんだろうね。

車から変な音がするんだよ。ちょっと誰かに見てもらわないとな。

虫歯が痛かったので、歯医者に行って抜いてもらった。

何がきっかけで、彼女と付き合うようになったんですか？

「どうにも顔がかゆいなあ」「この塗り薬使ってみなよ、けっこう効くぞ」

少なくとも年に一回は健康診断に行った方がいいぞ。もう若くはないんだし。

携帯がぶっ壊れたよ。新しいのを買う余裕はないから、修理に出すか。

「ちょっとトイレに行ってくるよ」「オッケー。じゃあその間、荷物見ておくよ」

日常会話完成講座 6 : SVOC (使役動詞)

たぶん、彼女が引越しを決意したのは、やかましい隣人のせいだろう。

同僚にもっと広い部屋に住むようたびたび勧められるんだが、僕は今の部屋が気に入ってるんだよなあ。

家に帰らせてもらってもいいですか？ひどい頭痛がして高熱があるんです。インフルエンザかもしれない。

この問題はかなりややこしくて時間がかかりそうだ。誰かに助けてもらった方がよさげだな。

今週末は、両親に子供を見てもらって、夫婦水入らずで旅行に行く予定です。

彼が誰かの文句を言っているのを見たことがない。みんなに慕われるのも納得ですね。

問い合わせには必ず丁寧に対応してください。大切な将来のお客様ですから。

携帯が普及し始めたのは 20 年ぐらい前ですよ。今では家に固定電話がないのも珍しくないとか。

営業部の人は、全員一年に一回のグローバルミーティングに参加することになっています。

このメーカーの電化製品は欠陥が多いと聞くけど、今のところ私は壊れたことがありません。



番号	単語	英語の意味	用例・注意	日本語訳の例	派生語・反意語
137	hangover		I have a hangover.	[名]二日酔い	
138	sore throat		症状は上の例のようにhaveを使います。I have a fever. I have a runny noseなど。	[名]のどの痛み	
139	diarrhea			[名]下痢	
140	runny nose			[名]鼻水(が出ること)	
141	fever			[名]高熱	
142	cough			[名]せき	
143	medical check-up		I took a medical check up. (physical check-upとも言います)	[名]健康診断	
144	decade	ten years	10年は「でけーど」と覚えるといいらしいです	[名]10年	
145	ambulance			[名]救急車	
146	ointment		Apply this ointment to your skin.	[名]塗り薬	
147	injection			[名]注射	
148	flu			[名]インフルエンザ	
149	bad tooth	cavity		[名]虫歯	
150	stiff neck			[名]肩こり、首のこり	
151	mobile phone	cel phone		[名]携帯電話	
152	defect	fault		[名]欠陥	defective[形]
153	souvenir		日本では人にあげるものがお土産だが、souvenirは自分の思い出のために買う物。キーホルダーなど	[名]お土産	
154	annual			[形]一年に一回の	
155	lost	unable to find one's way	I am lost! Could you tell me the way to the station?	[形]迷った	
156	dizzy	having a sensation of whirling and a tendency to fall		[形]めまいのする	

157	congested	overfull, crowded to excess	congested nose(鼻づまり)	[形]詰まる、うっ血する	
158	swollen	enlarged, tumid	swollen arm(むくんだ手)	[形]腫れた、むくんだ	
159	allergic to		I am allergic to fish.	[形]～アレルギーの	
160	itchy			[形]かゆい	
161	prevalent			[形]普及している、流行している	
162	starving	completely hungry	I am starving. Let's go get some food.	[形]お腹がぺこぺこの	
163	potential			[形]潜在的な	
164	withdraw	take back, draw back	I have to withdraw some money.	[他動](お金を)下ろす、撤退する	withdrawal[名]
165	deposit	to place for safekeeping or in trust, especially in a bank account		[他動]お金を預ける[名]保証金	
166	bleed	to lose blood	My nose is bleeding.	[自動]出血する	
167	examine	inspect or scrutinize carefully		[他動]～を調べる	exam[名]試験
168	inspect	examine formally or officially	I had my car inspected the other day.	[他動]～を検査する	car inspection[名] 車検
169	arrange	adjust, prepare		[他動]～を調整する、手配する	make an arrangement[動]調整する
170	replace	substitute a person or thing for	This old machine should be replaced.	[他動]～を取り替える	replacement[名]
171	keep an eye on	watch closely	Please keep an eye on my bag while I'm away.	[他動]～を注意深く見ておく	
172	hurt	feel pain or distress	My left knee hurts a lot.	[自動]痛む[他動]～を傷つける	
173	treat	deal with a disease in order to cure	①The doctor treated my disease.②Let me treat you to dinner.	[他動]～を治療する、～をおごる	treatment[名]治療